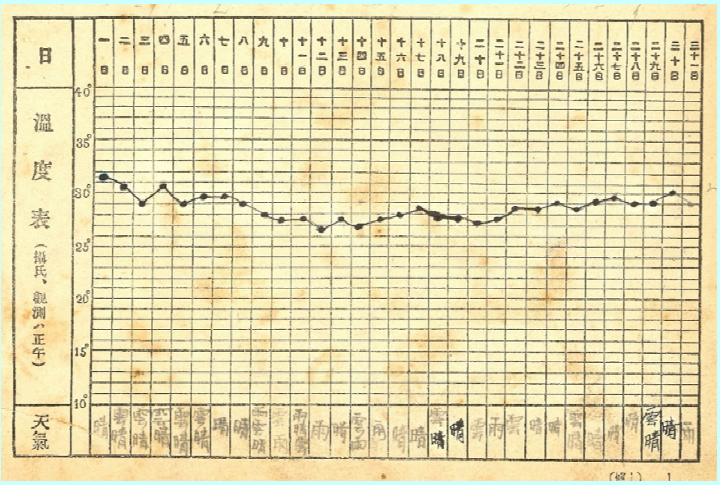
いなべ市 郷土資料館より　No.19　令和７年８月１日

暑中お見舞い申し上げます

毎日の天気予報の気温の地図が真っ赤から紫色になっています。今までにないことが起きている実感があります。郷土資料館にある夏の資料は、団扇、とっても豪華な扇風機、手回しの氷かき器、氷冷蔵庫（氷の冷たさでラムネ・サイダーや食材を冷やすもの）などと、今の夏の猛暑には物足りない感があります。当館にある昔の教科書の中に「夏休み学習帳」（三重県版）、後の「夏休みの友」みたいな家庭学習用のワークブックがあります。その中に昭和７年（今から93年前）のページのひとつに「温度表」があり、「観測ハ正午」とあり、毎日の天気と気温が折れ線グラフで記入してあります。（この人はどのページも丁寧です）ひと夏の最高気温が31.5度で、30度越えの日がわずか４日間とあり、かなり涼しい８月だったと受け止めます。温暖化やCO_2問題が話題になっている昨今、人の体温を超える数値が連日続いている状況と大きく違うことを感じ取ることができます。また、学年に応じた学習課題は今と変わらないものやユニークに思えるものもあり、見ていておもしろく、チャレンジしてみたくもなります。いろいろな表紙の学習帳があるので、ぜひ見ていただきたいと思います。



＊夏の企画展をやっています！

東海環状自動車道をつくるために行われた発掘調査でわかったことを展示しています。今年の3月から車が走っている高速道路の地下にどんな歴史が埋まっていたのか、約一万年前の住居、四千年前の土器、全国的に有名になった石斧と材料の青川の石･･･。

出土した遺物は、二十数年ぶりの里帰りとなります。

いなべ市 郷土資料館
いなべ市藤原町上相場838番地
電話 0594 46 2526
E-mail i-kyoudo@m7.cty-net.ne.jp